

いたやなぎ 町議会だより

令和2年
9月定例会

第27号
2020. 11. 13

主な内容

- 7人が一般質問 P 2 ~ 8
- 常任委員会審査 P 9
- 決算特別委員会 P10~11
- 一目で分かる P12~13
審議結果等

板柳東小学校の北畠一心さんに夢を語っていただきました。板柳南ワイルドイーグルスに所属している北畠さんの目標としている人は、弘前学院聖愛高校在学時に甲子園に出場した、兄の隼人（かんと）さんとのことです。

将来の夢であるプロ野球選手を目指して、日々の練習を頑張りたいとのことでした。

板柳町の夢進人！

～一心不乱にプロ野球選手を目指す！～

北畠 一心さん
板柳東小学校3年生

町民の声を町政に

第3回定例会一般質問

第3回板柳町議会定例会が9月2日から10日までの日程で開催されました。9月4日に行われた「一般質問」に、7名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

子宝祝金

問

現在当町で行っている子宝祝金制度は、人口減少が進み、少子化が深刻な問題となっている中で、少しでも歯止めのきっかけとなり得るものと認識している。しかし、現在の制度内容は、第2子からの適用であり、当町の現状を考えると、その内容に疑問を感じる。

子供は町の宝、ひいては国の宝という観点から、この制度内容を一度見直し、第1子からの適用とすることを望むが、いかがか。

答

(成田町長)

子宝祝金の支給事業であるが、平成26年度から開始しており、今年度で7年目となる。当時人口減少対策として、第2子から子宝祝金の事業をスタートした



濱 名 康 治

と思うが、生まれてくる赤ちゃんは、第1子も第2子もみんな町の宝である。よって、平等に第1子から祝ってあげるのが子宝祝金の趣旨だと思うので、新年度に向けて制度の見直しを検討したいと考えている。



問

来年度の当初予算に取り入れていただけるということでよろしいか。

答

(成田町長)

3月の予算特別委員会で話したが、その気持ちは今も変わっていない。ただいま答弁したとおり、第1子から支給する方向で検討する。



問

今や出生数が1000人を割り込む危機的な状況である。平成29年度が55名、平成30年度が74名、令和元年度が61名となっている。令和元年度の内訳は、第1子が27名、第2子が15名、第3子以降が19名という状況で、少子高齢化を即座に解決するわけではないが、一つの結果として願うばかりである。

答

(成田町長)

生まれたことに対してのお祝いであるので、第1子であるのが第3子であろうが、そういうのは関係ないと思う。金額についてはこれから内部で検討するが、そういう思いがある。第1子からやるとしても、金額がどのようになるか、これから検討したいと思う。





成田 陽光

公立図書館のあり方

問 時代の変化とともに図書館のニーズも変化している。情報は全てインターネットで検索すれば分かると思っても、実際に調べ物をするために図書館に行くと、情報の正確性や一度に多くの書籍を並べて比較検討できたりと、図書館の役割は重要だと考えている。より町民や利用者にとって使いやすい環境を整える必要性を感じており、教育長の図書館への考え方を伺う。

答 (永澤教育長) 図書館は人づくりの基

本としての役割を果たしていると考えている。今後とも図書館を利用しやすい環境整備について大変大事であると感じている。情報を集めながら、さらにまた充実させていきたい。

問 一般的な図書館であれば、情報検索のためのパソコンが当然あってしかるべきだと思う。情報の拠点であれば、人の交流も生まれるという観点をぜひ持っていたいただきたいと思うが、いかが考えるか。

答 (成田町長) 1人でも多く利用できない図書館環境づくりについては、教育委員会と今後検討していく必要があると考えている。

問 味のある建物で大変いいとは思いますが、利便性や図書の整理の面から見ると、不便さを感じている。建物自体ハード面の今後の方針を伺う。

答 (永澤教育長) 緊急的なことについては修理、修繕で対応している。

また、以前より要望のあったエアコンについても平成30年度に設置されており、今後もより快適な環境での利用が可能となるよう対応していきたい。

問 障がい者の点字、拡大ルーペ、また外国人が来たときの外国語表記の対応について伺いたい。

答 (工藤生涯学習課長) 外国語表記や点字等については行っていないので、積極的に表記等をしていくように心がけたい。

問 他自治体の図書館では、リモートのイベントなど、図書館自体が積極的にコロナ禍での事業を展開している状況もあり、当町でもやってよかったのではないかとというのが率直な感想である。町民がもっと来館しやすくなる図書館運営の方針を伺う。

答 (永澤教育長) ブックススタート絵本や3歳おめでとうブック、子ども司書等の子ども向けの事業が多く展開、実施されている。

今後はより利用者の要望に沿った大人向けの事業にも力を入れ、より満足していただける図書館づくりを目指したい。



コロナウイルス感染者発生時の家庭内介護者の対応について

問 当町においてコロナウイルス感染者はまだ発生していないが、各家庭の世帯主などの中心人物が感染して、入院を余儀なくされた場合、残された被介護者の対応について伺う。

このような場合、市町村など一番身近な自治体の手を差し伸べる機会になると考えるが、町の対応について伺う。

答 (成田町長) 介護サービスを利用している方は、担当のケアマネジャーに相談していただくこと、介護者不在中のサービスについて検討してもらうことができる。

介護サービスを利用していない方は、兄弟や親戚、友人、知人など、信頼できる人に協力を求めることが必要だと考えている。

協力が全くない場合については、町が地域の支援者などの協力を得て、当該高齢者の在宅生活を支援することになっている。

問 具体的にどのような形で支援が想定されるか。

答 (村上介護福祉課長) 介護者の方と何が一番必要であるかを相談し、被介護者の家族等関係する方に集まっていただき、一番よい対応をとっていきたい。

具体的には、まず食事を届けることが一番大事だと思う。それ以外に必要なものはケース・バイ・ケースで行わなければいけないと考えている。

問 県の方針がなく、他市町村でも困っていると聞く。県への要望の話を含めて答弁いただきたい。

答 (成田町長) 県に目安や基準となるものを早急に情報提供していただくようお願いしたい。





葛西 幸男

メンタルヘルス

問 現在心の病気で長期休暇となっている職員はいるか。いるとしたら、何人くらいに上るのか。

答 令和に入ってから長期休暇を取っている職員の推移と、その職員に対してどのようなケアを講じているか。

(成田町長)

心の病気で長期休暇している職員が1名いる。心の病気で1ヶ月以上の病気休暇を取得した職員は、昨年度が3名、今年度が1名である。

職員のメンタルヘルス不調の未然防止のため、ストレスチェックを実施し、職員自身のストレスへの気付きを促す対策を実施している。心の病気で休暇を取った職員が復帰した場合、最初は1時間勤務や半日勤務

にして、業務の見直しや相談に乗るなど、職員のケアに努めている。

職員の働き方改革

問 令和元年度における管理職以外の1人当たりの平均残業時間は何時間か。

答 令和元年度の管理職以外の平均残業時間は、約12時間である。

(成田町長)

問 最も残業時間の多い職員が所属している課はどこか。また、1ヶ月平均すると残業時間は何時間か。

答 昨年度は選挙が多かったので、総務課の選挙担当職員が最も多く、月平均で約79時間である。

(成田町長)

問 時間外勤務を余儀なくされている職員に対して手当はきちんと支給されているか。

答 職員の間外勤務手当については、各業務別に当初予算に見込額を予算措置しており、突発的な事業などで、不足が見込まれる場合は、補正予算で対応している。

(成田町長)

今後の、働き方改革の一環として、業務が1人に集中し、残業が偏らないように業務を改善し、職場のコミュニケーションの活性化や会計年度任用職員の活用などにより、働く環境の改善を図っていききたい。



防災について

問 現在の地震及び洪水ハザードマップは、いつ作成されたものか。

答 現在の洪水ハザードマップは、平成20年3月に、地震ハザードマップは、平成22年11月に作成し、町民の皆様配布している。

(成田町長)

今後ハザードマップの見直し計画がある場合、避難場所の変更を考えているか。

問 今後ハザードマップの見直し計画がある場合、避難場所の変更を考えているか。

答 近年河川氾濫等の状況を

受け、国及び県において浸水想定区域を大幅に変更した。そのことから、今年度において、町でも洪水ハザードマップの改訂作業を進めている。

(成田町長)

地震ハザードマップについても、作成してから年月が経過しており、見直しを検討したいと考えている。

避難場所の変更について、今回の改訂で見直しを行う予定はない。しかし、避難場所になっている施設の状況等に変更があった場合は、見直しを行っていききたい。

問 高齢者や幼児等が安全に避難するための対策マニュアルはあるか。

答 高齢者や幼児の区分とは少し異なるが、避難の際に支援等が必要である要配慮者については、民生委員、行政連絡員などの協力による安否確認支援体制などについて防災計画等に記載している。また、防災計画に

(成田町長)

定めている小中学校、保育所、介護施設、病院などの要配慮者利用施設には、洪水時などの災害時における避難確保計画の作成が義務づけられており、それぞれの施設において避難計画マニュアルが作成されている。

問 高齢者のためのマニュアルを作成する考えはないか。

答 特段高齢者、幼児等の避難マニュアルについては、区分が違うが、支援体制を整えるということでマニュアル等は作成している。行政連絡員、民生委員等の協力を得ながら防災計画にも記載しているので、それを利用していききたい。

(大井総務課長)



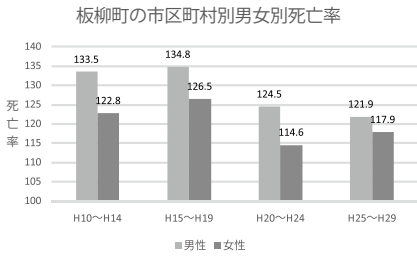


鈴木清孝

町民の健康増進施策

問 板柳町の市区町村別死亡率(※)は、男性が121.9、女性が117.9で、男女ともに死亡率が県内でワースト10位、全国で男性がワースト29位、女性がワースト35位である。これを踏まえて、これまでの当町の死亡率の推移はどのようになっているか伺う。

答 (成田町長) 結果は次のとおりである。



いずれも全国平均の100を上回っており、今後も町民の健康づくりを地道に取り組んでいく必要があると考えている。

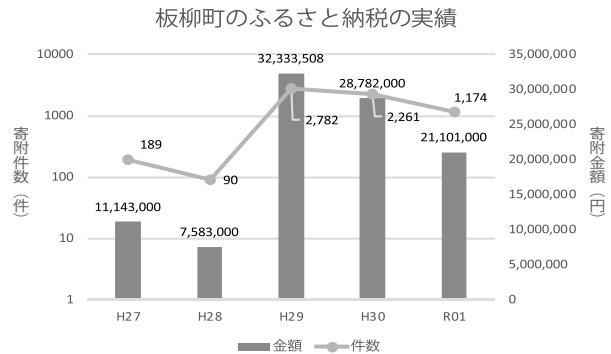
問 コロナ感染対応で、町の特定健康診断の会場を、役場の福祉センターから多目的ホールあぶるへ変更して実施した。非常に利便性が良いとの町民の声がある。来年度からも会場をあぶるへ変更したほうが良いと思うが、いかがか。

答 (成田町長) 今後も多目的ホールあぶるで継続してやっていきたいと担当課から話があった。今後とも健診者の利便性に応える方向で考えていきたい。

ふるさと納税事業

問 過去のふるさと納税の実績について、件数及び寄附金額を過去5年間の年度ごとの対比で伺いたい。また、令和元年度におけるのふるさと納税寄附金額の県内順位は。

答 (成田町長) 過去5年間の結果は次のとおりである。



平成29年度をピークに減少しており、令和元年度においては、県内40市町村中順位は25位となっている。



問 順位が25位で金額が3年連続減少している要因は何だと捉えているか。

答 (成田町長) 返礼品に魅力がないのではないかと捉えている。今年度においては、返礼品の見直しを考えていて、税務会計課に指示している。

りんごの販売戦略

問 本年産りんごの青森県の予想収穫量は、現時点で45万1,100トンと報道されている。当町の基幹産業であるりんごの予想収穫量はどの程度と見込んでいるか伺う。

答 (成田町長) 前年産の10%増の2万7,000トン程度の収穫量を見込んでいる。

問 本年度当初予算で計画している販売促進PR事業の予定について伺う。

答 (成田町長) 毎年りんごまるじり塾の皆さんが福岡と鹿児島のパートにおいて販売活動をしているほか、りんご支会連においても県内4か所において販売活動を行っている。

町建設工事最低制限価格制度

問 町建設工事最低制限価格制度要綱を平成28年9月に策定した背景とその経緯を伺う。

答 (成田町長) 当時大幅な低価格で受注契約を締結する、いわゆるダンピング受注が社会問題となっていた。平成28年3月18日付で総務省自治行政局長と国土交通省土地建設産業局長の連名により、ダンピング受注の防止を図るよう要請があり、これを受けて、当町においても要綱を取りまとめ、対策を講じているところである。

問 要綱に規定されている各種の率、割合の数字は何かを参考にしたのか。

答 (八木橋企画財政課長) 公共工事契約業務連絡協議会で発表している率をそのまま利用している。これは、周辺の自治体も同じ考えで取り決めている。

問 最低制限価格の最終決定権者は誰か。

答 (八木橋企画財政課長) 町長である。

(※) 基準値(100)より大きいということは、その地域の死亡状況は全国より悪いことを意味し、基準値より小さいということは、全国より良いことを意味する。



工藤 貢

りんご産業振興対策

問 りんご新品種「明秋」は葉取りをしなくても着色が良く、普通貯蔵保存性に優れていると聞いています。今後のりんご栽培に適している品種だと思いが、町で対策を考えているか。

答 (成田町長) ふるさとセンターのりんご品種見本園に明秋を植栽し、町内外の方にPR、宣伝していきたいと考えています。

問 今年7月に黒星病の新たな防除薬剤が農薬として登録されたと報道されています。

た。今後、新薬の登録を受け、町では21年産りんごの使用に向けてどのような取組みを考えているのか。

答 (成田町長) 県や関係機関、関係団体と情報を共有しながら、新薬の使用方法等について適切な情報提供を農家の皆様に行いたい。

問 快適に農作業ができるよう、りんご園に仮設トイレを設置する場合は、町で支援してほしいと思うが、町長の考えを伺う。

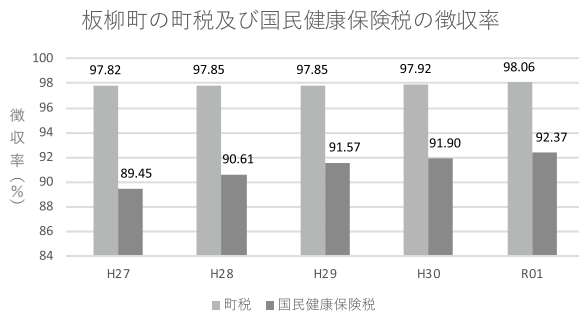
答 (成田町長) 自宅から離れた場所での農作業をしている方には必要な施設だと認識している。実施している市町村の状況を調査しながら検討したい。



税金の収納状況と対策

問 令和元年度の町税は9億3,071万円で、前年度より増えている。過去5年間の町税及び国民健康保険税の徴収率について伺う。

答 (成田町長) 過去5年間の徴収率は次のとおりである。

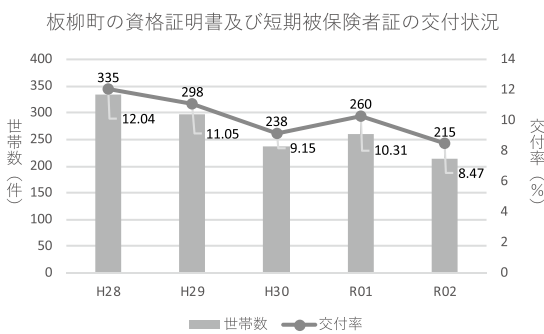


る徴収訪問を行っている。今年度においても昨年同様の活動を計画している。

問 国保税の滞納者には、資格証明書と短期被保険者証を交付して対応しているが、内容を伺いたい。また、過去5年間の交付状況も伺いたい。

答 (成田町長) いずれも前年度以前に滞納がある方へ交付される。資格証明書は、医療機関を受診する際に一旦全額自己負担となり、短期被保険者証は、通常の保険証よりも有効期間が短く3か月となっている。

過去5年間の交付状況は次のとおりである。



バーベキュー施設整備に対する議会の附帯決議

問 3月定例会において、町の実施設計業務委託料の予算に対し、議会から附帯決議が出され、予算執行ができない状況である。町民の皆さんが安心して快適に利用できる場所にバーベキュー施設を1日も早く整備してほしいと思うが、町長の所見を伺いたい。

答 (成田町長) 5月21日開催の議員全員協議会において、サーキット場の場所が最も適していることを報告した。この計画については、その後も協議を重ね、議員の皆様のご意見を踏まえながら計画内容の修正を行ってきたが、附帯決議にある合意形成を図るまでには至っていない。バーベキュー施設は、町民にとって大切な交流の場であり、町の拠点施設であるふるさとセンターの活性化につながる施設でもあるので、これからも議員の皆様にご理解していただけるよう努め、早期の整備を目指したい。

ふるさと納税



三戸 玲子

問 返礼品として今まで魅力のあるものを考えてきたようだが、これからたくさんアイディアを出し合って、少しでも数字が上がるようにしてもらいたいと思うが、いかがか。

答 (成田町長) 当町においては、生食のりんごが寄附額全体の6割以上を占めていることから、りんご品種の充実や異なる品種の詰め合わせセットなど、お徳感が得られるような商品を開発して、少しでも寄附額の向上につなげていきたいと考えている。

また、8月19日には、ふるさと納税返礼品に関わる事業者説明会を開催し、新規の返礼品取扱事業者の募集も行った。返礼品の種類が多いほど魅力的であるこ

とから、今後はりんご以外の町独自の地場産品の発掘、募集にも力を入れていきたいと考えている。

板柳中学校の植栽

問 中学校前に植栽をしているようだが、どのような植栽を考えているか。

答 (永澤教育長) ソメイヨシノ、ヤマボウシ、ハナミズキ、ドイツトウヒなど、8本の高木を予定している。

今年度、旧校舎及び駐輪場の解体を予定している。解体後の新校舎と敷地内とのバランスを考慮しながら、緑豊かな環境づくりに向けての植栽計画を進めていければと思っている。



問 植栽の種類はどのようにして選んでいるか。

答 (對馬学務課長) 校舎を設計した楠山設計に、新校舎に似合う植栽を提案していただき、進めている。

問 駐輪場の方もこれから植栽を行う予定か。

答 (對馬学務課長) 今後、旧校舎及び駐輪場の解体を行うので、解体後の状況を見ながら、植栽計画については考えたい。

保育所の状況

問 議会に沿川保育所鶴住の廃止が報告されたが、これからの子ども達の状況及び各保育所の築年数について伺いたい。

答 (成田町長) 町の子ども子育て支援事業計画によると、就学前の児童数は、令和6年度には385名と推計されている。令和元年度末で439名なので、5年間で54名、率にして12.3%減少する見込みとなっている。

保育所の築年数について、沿川保育所鶴住が築50年、板柳第二保育所鶴住が築46

年。小阿弥保育所鶴住が築44年。畑岡保育所鶴住が築43年。板柳第三保育所鶴住が築39年。板柳第一保育所鶴住が築37年で、いずれも老朽化が進んでいると認識している。健やかな子どもたちの成長を願い、よりよい保育環境づくりに努めた

問 保育所を民間に移譲したが、町として、どのような形で保育所に関わるのか。新しく建てる時は、町のほうで建てるのか。

答 (村上介護福祉課長) 運営をしている法人が整備を行う際に、町が補助をすることで国の補助事業を受けられる。



議会を傍聴しませんか

次の定例会は12月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日		内 容
12月4日(金)	本会議	特別委員会報告等、提案理由の説明
12月7日(月)	本会議	一般質問
12月8日(火)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
12月9日(水)	本会議	委員長報告等、質疑、討論、採決

※開催時間はいずれも午前10時(予定)です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、本会議を傍聴することができます。なお、傍聴の際は、マスクの着用をお願いいたします。





松森 俊逸

りんごワーク研究所への町長の関与の有り方

問 一般財団法人りんごワーク研究所については、町出資金及び一般会計からの支出等、ごく限られた事項以外のことに対しては、その内容を質せないとなっている。

答 よって、議員は年1回の9月決算議会において、一切の説明なしに一方的に議会提出された極めて専門的知見がなければ解釈できない経営報告で経営状況を把握しなければならず、たとえその経営状況について疑義を質したくてもできずにいる。このままの形式でよいと考えるか。

答 (成田町長) 各年度の事業報告及び収支決算については、毎年5月の理事会、6月の評議

委員会承認を受けることになっている。こうした手順を踏みながら毎年議会へ決算報告書を提出している。りんごワーク研究所決算報告の内容を広報したやなぎに掲載し、町民の皆様へ経営状況を公表している。で、ご理解いただきたい。

問 経営報告書提出で済ませる法的根拠は何か。

(成田町長)

答 地方自治法第243条の3第2項において、普通地方公共団体の長は、第221条第3項の法人について、毎事業年度政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならないと規定されていることを根拠としている。

問 今後疑義に関して前向きに捉えて、質疑や意見交換する機会をつくるつもりはあるか。

(成田町長)

答 議員全員協議会等での説明を全く拒否するわけではない。やり方については、議長と相談して対応したい。

問 第3セクター等の経営健全化等に関する指針において、自治体の長など

が役員に就任するに当たっては、その職責を十分に果たし得るか十二分に検討した上で就任する必要があると明記されている。りんごワーク研究所のトップである理事長を兼職する町長は、このことについていかが考えるか。

(成田町長)

答 公社の理事には、様々な団体の方が就任しており、職務の遂行を監督していることから、その職責は果たしていると考えている。

特定地域づくり事業協同組合の設立

問 本年6月に施行された人口急減地域特定地域づくり促進法は、過疎地域の人口流出の主因である通年の仕事が少ない、一定の給与水準を確保できないなどの問題克服に向け、特定地域づくり事業協同組合を核として地域の担い手を集めようという制度である。町としていち早く率先して、この先進事業を推進する考えはないか伺う。

(成田町長)

答 市町村の助成額について

市町村の助成額について

て、国の交付金や特別交付税措置など手厚い財政支援が盛り込まれている。今後は、当町の最重要課題である人口減少問題に対応する有効な手段の一つとして、さらに情報収集に努め、調査研究したい。

常盤町踏切拡幅

問 常盤町踏切拡幅に係る県道五所川原岩木線道路改良事業の進捗状況は。

(成田町長)

答 県では今年5月に、交通量調査や沿道状況を整理するための五所川原岩木線道路交通安全対策整備調査業務委託を発注し、交通安全対策の調査、検討に着手している。今後、調査の主要な区切りにおいて県と町が協議しながら改善策の検討を重ね、整備方針の合意を目指す予定と伺っている。

小学校統合

問 板柳町立小学校適正規模・適正配置等に関する報告書が1校統合および小中一貫教育を主旨として、平成26年3月に教育委員会

から議会へ報告されている。しかし、議会として統合問題について、正式にその方向性等の議論や検討を行ったことはない認識している。

答 少子化が急速に進む現況において、一朝一夕で対応できない小学校統合について、具体的検討のスケジュールをいかが考えるか。

(永澤教育長)

問 可能な限り早めに小学校1校への統合が望ましいと考えている。今後のスケジュールとしては、地域及び関係団体、多くの方々から意見を伺い、通学等の課題なども含めた協議をしながら基本計画を策定し、町民各位にご理解いただいた上でスタートしたい。

答 統合問題に関して基本計画を策定する方向で動くのがいいと思う。その結果がちがちに固まってからでなく、その前に議会にも説明してもらいたいと思うが、いかがか。

(成田町長)

答 町の大きな事業の一つになるので、しっかりと教育委員会と協議しながら進めていきたいと考えている。

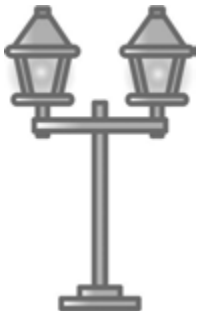
委員会 常任委員 審査

総務産業厚生 常任委員会

■街路灯修繕

Q 街路灯を作ってから長い年月が経っている。危険箇所は1ヶ所や2ヶ所だけでなく、直すのであれば1回でやってしまうのがいいと思うがいかがか。

A 4町内会の皆さんが協議している最中である。まずは緊急性の高い場所から随時補強していく。将来的には、使えるものもまだあるので、町内会の皆さんと話し合っていく。



■緊急対策事業者支援金

予算が不足しているとのことだが、申請額と不足額はいくらか。

A 予算額1,950万円に對して2,510万円の申請があり、560万円の不足額が生じた。

Q 申請件数は。
A 170件であった。

■電算システムの共同利用

Q クラウド化によるメリットは。

A セキュリティーの強化、サーバー自体が別のところにあるので、災害等からサーバーを守ることに。障害発生時は常時24時間委託先で監視しているので、迅速な対応が可能となる。



■農業次世代人材投資事業

Q 新規が1名、継続が13名との説明を受けたが、通算で14名ということでしょうか。

A 令和元年度は14名の方へ交付した。通算だと31名である。

Q 過去に給付金をもらった人は全員就農しているか。
A 現在も全員が農業に携わっている。

◆意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

採 択

福祉建設文教 常任委員会

■新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金

Q 1施設当たり50万円、6か所で300万円となっているが、各保育所でその50万円を全てコロナ対策にきちっと使っているという検証等はやっているか。

A 手に入りづらいものは早めに発注して、年度内に事業が完了するように計画を出してもらっている。買うものをそれぞれ想定して取りかかっている。

■河川公園植栽樹剪定工事
Q 岩木川の桜87本の剪定、454万6,800円について、プロの剪定師に頼んで切っているのか。
A 15メートルから20メートルぐらいの高さの木で、専用の補助作業車がないとできない。また、桜の木がてんぐ巣病にかかっている、除去するための専門的な技術が必要のため、造園業者にお願した。

■部活動補助金
Q 全国大会等へ行った場合、どれぐらいの補助を出していたか。
A 全国大会に行ったケースは中学校の野球部で、監督1名、コーチ1名、生徒20名が4泊5日で、事業費178万円に対して町から140万円補助した。
東北大会に行ったケースは中学校の陸上部で、監督1名、コーチ1名、生徒13

■県民体育大会
Q 大会が中止になり、選手の熱量が下がってしまった感じがする。体育協会や教育委員会で今後のフォローを上手にしていけないかと順位がどんどん落ちてしまうと思うが、考えているか。
A 各競技の代表者の方と今後の強化に向けてきちんと話し合いをしたいと思う。



決算特別委員会 総括質疑

令和元年度の各会計決算を審議するため、議員全員で構成する決算特別委員会（委員長・三戸玲子議員／副委員長・佐藤文俊議員）を設置し、9月8日・9日の2日間にわたり詳細に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。
※令和元年度各会計決算の詳細については、広報いたやなぎ10月号に掲載されています。



◎空き家利活用定住補助金
■質問 鈴木清孝委員
空き家利活用定住補助金30万円について、内容と実績を伺いたい。

▲八木橋企画財政課長
町内の空き家を購入し、その物件に3年以上居住する意思のある方に補助している。町外からの移住者に関しては、30万円のところを50万円にして対応している。昨年、小阿弥地区で実績があった。

◎空き家・空き地バンク
■質問 鈴木清孝委員
弘前圏域空き家・空き地バンク負担金18万5,000円について、昨年度から10万円ほど安くなっている理由は。

▲八木橋企画財政課長
津軽広域連合でやっている事業で、登録すればホームページ上に掲載して仲介を図る仕組みとなっている。システムを作る時には負担金が高かったが、今は運用だけなので負担金が減ったのが理由である。

◎予算の不用額
■質問 松森俊逸委員
不用額のパーセンテージが4.5%強を出している。予算編成時の見積もりが甘いのではないかと思う。正確な見積もりを取れば、不

用額を3%以内に収められると考えているが、所見を伺いたい。

▲八木橋企画財政課長
見積もりは非常に大切なことだと思うので、いただいた意見を共有して、住民が納得する予算づくりをやっていききたい。

◎鳥獣被害対策
■質問 葛西幸男委員
猟友会の会員数及び活動実績は。

▲小枝産業振興課長
会員数は9名で、銃器による駆除を年間4〜5回実施し、1回あたり10〜20羽駆除している。



◎板柳中央病院の老朽化
■質問 松森俊逸委員
経営状態がいろいろうちに早めの改修をやったほうがいいと常々思っているが、いかがか。

▲楠美中央病院事務長
既に耐用年数が過ぎていくものもある。それに関しては、1つの年度に更新が集まって、その時期に負担を増やすのではなく、平準化させて、計画的に更新工事を行う長寿命化計画等を今後策定し、施設の更新等を進めていく。

なお、3月に火災があった電気室の施設を2ヶ年度を予定して更新する予定である。

屋根についても損傷を受けている。一気にはできないので、何年かの計画を策定して、更新を進めていきたい。

◎郷土資料館費
■質問 成田陽光委員
決算額290万円ぐらいだが、維持管理のために使っている金額を抜いて、実際にかかっている金額は15万円ぐらいしかないのが現状である。活動するための費用として少ないと思うが、いかがか。

▲成田町長

先人が築いてきた資料を守り、後世に伝える大きな役割を持っている場所だと考えている。今後どういったものに予算をつけていくかを担当課と調査研究しながら対応していきたい。

◎果樹共済加入助成補助金
■質問 長内良蔵委員
りんごの果樹共済加入助成補助金190万円以上だが、加入率はどれくらいか。

▲小枝産業振興課長
64.9%であった。

■質問 成田陽光委員
実際収入保険のほうに切り替わっているのが現状だと思うが、収入保険の加入率はどれくらいか。

▲小枝産業振興課長
昨年度時点で35軒の方が加入している。

◎黒星病防除対策事業
■質問 長内良蔵委員
執行率はいくらか。

▲小枝産業振興課長
受益面積が932.63ヘクタール、執行率が65.14%、面積割合が68.17%である。



◎小学校のエアコン

■質問 佐藤洋治委員

学校を統合して将来は1校にしたいという話があったが、学校ができるまでエアコンがないのを我慢させるのか。今いる子どもたちを守ってあげることも大事だと思うが、いかがか。

▲成田町長

暑さが9月に入ってからでも30度を超えている日がある日も続いていて、子どもたちは大変な状況にあると理解している。子どもたちに快適な学習環境を整えてあげる方法、そしてまた国の補助事業を使ってやった場合、どれくらい経費がかかるかを早急に積算するような学務課に指示したい。



◎町有地売払収入

■質問 鈴木清孝委員

町有地売払収入（地域整備課）41万9,357円について内容を伺いたい。

▲竹内地域整備課長

地域整備課所管の法定外公共物の水路について、申請に基づき審査した上で、行政財産から普通財産へ種別替えして売渡したものである。

2件申請があり、1件目は太田地内で、面積が55.37平方メートル、2件目は福野田地内ほかで、面積が1,545.27平方メートルである。

◎旧商工会館住宅建物

■質問 鈴木清孝委員

旧商工会館土地建物使用料滞納繰越しで2万円、収入が4万円、収入未済が約21万円残っている。償還のめどは立っているか。

▲大井総務課長

以前より縫製会社に貸付けをしていた。平成30年度で契約を終了し、使用料未払い分がまだ残っている。令和元年度の間にも弁護士を通して毎月、少しずつだが、引き続きお支払いいただいている。今後も毎月、少額ではあるが、払っていただけると認識している。

■質問 鈴木清孝委員

今後の手続きについてどのように考えているか。

▲成田町長

施設が大分老朽化しており、解体あるいは売却についても今後検討していかねばならない。

今の状態のままにしておくことはよくないので、何かしら町として処分を検討したいと考えている。

◎壁面レリーフ

■質問 鈴木清孝委員

青柳館が開館したときに特別に作って壁面に飾っていた物だと記憶しているが、詳細を伺いたい。

▲對馬税務会計課長

青柳館のものだと思う。取得年月日が平成元年3月31日で、令和2年5月29日に本体劣化のため廃棄処分した。購入金額は200万円である。

■質問 佐藤文俊副委員長

主なる物品の廃棄になると理由が必要かと思うが、廃棄の理由は、

▲會津ふるさとセンター所長

大浴場新設に当たって、そのレリーフを設置していた壁そのものが撤去されることになってレリーフを一旦撤去した。30年ぶりに高いところから降りて見ただけ、降ろした段階で既に劣化していて、指で触ると粉になって穴が空いてしまう状況であった。金具と本体もいつ離れてもおかしくない状況であったので、廃棄処分した。

◎青柳館浴場改築工事

■質問 今浩一委員

新しくなった青柳館についての町長の評価を伺いたい。

▲成田町長

今年の1月26日に新装オープンし、これまで1日平均150人の利用があったが、新装オープン後は平均180人と、多くの利用者が訪れ、町民の皆さんからは広く利用されていると受け止めている。

そして、利用者1万人目ごとにコテージの宿泊と、りんごワークの商品をプレゼントして、利用客を高める努力もしている。さらにまたこの利用客を増やしていきたいと考えている。



◎アップルモールの活用

■質問 今浩一委員

昨年度を最後に、アップルモールを活用して開催されていたクラフト小径が終了した。町としてこれに代わるイベントや、アップルモールの活用方法について、これから考えていく予定はあるか。

▲成田町長

クラフト小径を7年間やってきたが、実行委員会の都合もあり、会場が鱒ヶ沢町へ移った。ふるさとセンターとアップルモールの連携は町にとって貴重な資源であるので、活用しながら商店街の活性化や地域の魅力を高めることに使っていく。

まるかじりウオーターのコースにも入っているのではないかと調査しなければならないと考えている。



中央アップルモール

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第5回臨時会（令和2年8月6日）

議案番号	議案	結果
議案第15号	令和2年度板柳町一般会計補正予算（第6号）	全員可決
議案第16号	令和2年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第2号）	全員可決

○賛否の分かれた議案

議案	氏名											結果
	工藤 貢	濱名 康治	佐藤 文俊	鈴木 清孝	成田 陽光	松森 俊逸	今 浩一	葛西 幸男	長内 良蔵	成田 肇	三戸 玲子	
議案第17号 板柳中学校解体工事請負契約について	○	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	×	賛成3人 否決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※議長は採決に加わらない。

◆第3回定例会（令和2年9月10日）

議案番号	議案	結果
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度板柳町一般会計補正予算）	全員承認
同意第15号	板柳町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員同意
議案第18号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員可決
議案第19号	弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について	全員可決
議案第20号	板柳町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第21号	板柳町職員の給与に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第22号	板柳町手数料徴収条例の一部改正について	全員可決
議案第23号	板柳町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正について	全員可決
議案第24号	板柳町水道事業給水条例の一部改正について	全員可決
議案第25号	令和2年度板柳町一般会計補正予算（第8号）	全員可決
議案第26号	令和2年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第27号	令和2年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第28号	令和2年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第29号	令和2年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第30号	令和2年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第3号）	全員可決
議案第31号	令和2年度板柳町水道事業会計補正予算（第1号）	全員可決
認定第1号～第8号	令和元年度各会計決算の認定	全員認定
報告第2号	令和元年度板柳町一般会計継続費精算報告書について	報告のみ
報告第3号	令和元年度板柳町健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第4号	令和元年度板柳町資金不足比率の報告について	報告のみ
報告第5号	一般財団法人板柳町産業振興公社りんごワーク研究所経営状況の報告について	報告のみ
議員発議第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	全員可決

◆第6回臨時会（令和2年9月16日）

議案番号	議案	結果
議案第32号	板柳中学校解体工事請負契約について	全員可決

◆第7回臨時会（令和2年10月8日）

議案番号	議案	結果
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度板柳町一般会計補正予算）	全員承認
議案第33号	小中学校タブレット端末購入契約について	全員可決
議案第34号	令和2年度板柳町一般会計補正予算（第10号）	全員可決
議案第35号	令和2年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第4号）	全員可決

※定例会及び臨時会の詳細については、広報いたやなぎに掲載されています。



視察・研修レポート

県下町村議会 議員研修会

7月9日、青森市リンククモア平安閣市民ホールにおいて、議員研修会が開催されました。

新聞、ラジオなど多方面で活躍している政治評論家の有馬晴海氏が「これからの政局・政治展望」と題し、講演されました。

安倍政権に至るまでの経緯、過去の大物政治家の政権時代との比較、オリンピックに対する憶測、安倍前総理の人事にまつわる状況などを、講師そのものの人脈から得た、なかなか知り得ない情報を交えながら、ユーモアあふれる講演が行われました。

(副議長 長内 良蔵)



県下町村議会 新人議員研修会

8月27日、青森県労働福祉会館において、新人議員研修会が開催され、佐藤文俊議員、私、工藤貢、随員職員の齋藤主査の3名が出席しました。

新潟県立大学国際地域学部田口一博准教授を講師に、「議員として活躍するために」をテーマに、効果的な一般質問を行うための準備方法などの実践的な内容を学びました。

さらに、議会の役割、使命を確認後、標準会議規則等を元に、発言のルールを整理し、今後の議員活動に大役役立つ、実り多い研修となりました。

(委員 工藤 貢)



議会の動き (7月~9月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名
7月	7日 議員全員協議会	9月	2日 議員全員協議会
	8日 町例月出納検査(監査)		〃 本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
	9日 議会だより編集特別委員会		4日 本会議(一般質問・7人)
	〃 県下町村議会議員研修会		7日 総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)
	15日 議員全員協議会		〃 福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
	21日 弘前地区環境整備事務組協議会臨時会		8日 決算特別委員会
	〃 津軽広域連合議会臨時会		9日 決算特別委員会
	27日 議会運営委員会		10日 本会議(委員長報告、採決、閉会)
28日 議会だより編集特別委員会	〃 議員全員協議会		
8月	3日 議案説明会		11日 町例月出納検査(監査)
	5日 議会だより編集特別委員会		14日 議員全員協議会
	6日 議員全員協議会		〃 議会運営委員会(臨時会案件)
	〃 臨時会		16日 臨時会
	7日 町例月出納検査(監査)		
	19日 西北五広域福祉事務組協議会定例会		
	24日 国民健康保険運営協議会		
	25日 議案説明会		
27日 県下町村議会新人議員研修会			
31日 議会運営委員会(定例会案件)			

議会構成② (広域議会)

西北五広域福祉事務組合議会

(副議長 成田 陽光)

五所川原市・つがる市・深浦町・
鱒ヶ沢町・中泊町・鶴田町・板柳町
の7市町で組織し、共同
処理する事務は、障
害児入所施設の設置
及び管理運営に関す
る事務などです。



弘前地区環境整備事務組合議会

(議員 葛西 幸男)

弘前市・平川市・大鰐町・藤崎町・
板柳町・西目屋村の6市町村で組織
し、共同処理する事務は、
し尿処理施設、ごみ処
理施設の設置及び管理
の事務です。



津軽広域連合議会

(議会運営委員 三戸 玲子)

弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・
板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村
の8市町村で組織し、
介護認定及び障害支
援区分判定審査・各
ソフト事業など様々
な事務事業を行いま
す。



弘前地区消防事務組合議会

(議員 今 浩一)

弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・
板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村
の8市町村で組織し、
共同処理する事務は、
消防に関する事務など
(消防団に関する事
務を除く)です。



以上、広域議会の議員として、他市町村議員と共に議会活動を行っています。

いたやなぎ町議会だより「夢追人」を募集しています

内 容：表紙写真の掲載(町内在住、男女年齢問わず)

募集期間：随時募集

選考方法：議会だより編集特別委員会で審査を行い、選出します。

問 合 せ：板柳町議会事務局まで TEL 0172-73-2111 (内線401)

編集後記

朝晩めっきり涼しくなっ
て参りましたが、令和2
年もわずかとなりました。
今回、表紙を飾ってくれ
た夢追人、夢が叶うよう、
精一杯応援したいと思いま
す。

さて、近隣では新型コロ
ナウイルス感染者が出てお
ります。

町民の皆さん、うがい、
手洗いを徹底し、十分注
意しましょう。

(委員 工藤 貢)



【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第28号発行予定は2月
12日頃です。
議会だよりへのご意見・
ご感想をお聞かせくださ
い。